

CORNETT / SACKBUT & ORGAN

ANGELICO

アンジェリコ 第4弾!

ピリオド楽器による 16-17 世紀の金管アン
サンブル (アマチュアも参加しています)

栄光のスペイン



ゲスト

濱田 芳通 (コルネット)

西山 まりえ (オルガン)

高本 一郎 (リュート/ビウエラ)

濱元 智行 (パーカッション)

ANGELICO

(コルネット) 池田 修

上倉 武

細川 大介

(サクバット) 生稲 加奈代

生稲 雅威

小倉 史生

原田 春香

堀内 智子

宮下 宣子

山田 秀二

プログラム

H. カベソン 〈「スザンナ」による

ディミニューション〉

C. モラレス 〈全地は主を誉めたたえよ〉

A. ロボ 〈我がハープは喪に服し〉

「ウプサラ歌曲集」よりヴィリャンシーコ

ほか

お問い合わせ sackbutnm@gmail.com

090-6018-4057 宮下 宣子

HP : <http://sackbut1.com>

後援：日本トロンボーン協会 (JAT)

2015年9月5日(土)

17:30 開場

18:00 開演

日本ホーリネス教団

東京中央教会

(JR 大久保駅徒歩 10 分)

全席自由 3000 円

前売券 及び 各協会員 2500 円

学生 2000 円

楽器について

ルネサンスからバロック時代にかけて活躍したコルネットという楽器は、金管楽器型のマウスピースで吹きますが、マウスピースは動物の角、楽器は木できており、笛のように指孔で音高を調節します。15世紀初め頃から絵の中に現れ、16～17世紀にはソロ楽器としても活躍しました。後代のドイツではツィンクと呼ばれています。

サクバットは英語で、ルネサンス、バロック時代のトロンボーンのことです。ナチュラルトランペットのベル部分ごとを伸縮させたスライドトランペットが祖先と考えられますが、1490年頃に建ったローマの教会のフレスコ画に、現在のトロンボーンと同じ2本重ね（U字型）のスライドをもつ楽器が描かれているのが最古の資料になります。引く（スク）押す（プシェ）と言うフランス語が語源だと言われています。

コルネットとサクバットの合奏は、ルネサンスからバロック時代にかけてさかんに演奏されました。特に教会では、聖歌隊とともに活躍しました。今日でも金管合奏でよく演奏されるシャイトやガブリエーリなどの音楽も、もとはこれらの楽器のために書かれたものです。

ANGELICO（アンジェリコ）

ANGELICOはトロンボーンの前駆であるサクバットを主体とし、2011年2月に根津教会で、サクバット7人のアンサンブルで第1回目のコンサートを行いました。その後コルネット（ツィンク）やオルガン、パーカッションの編成に拡大し、G.ガブリエーリ、シャイン、シャイトなどの作品で2013年7月に第2回目のコンサートを行いました。さらに昨年7月、G.ガブリエーリの14～15声の作品に挑戦して第3回コンサートを今回と同じ東京中央教会で行いました。

ANGELICOは、世界的にも珍しい古楽金管楽器を中心としたアンサンブルで、日本での古楽金管の普及も大きな目的のひとつです。古楽金管楽器独特の柔かく歌のような天上の響きによる調和をモットーとして、少しずつですがファンを増やしつつ、その活動を続けております。今回もまた素晴らしいゲストの方々を迎え、古楽器に持ち替えただけでなく、当時生き生きと生活していた人々のアグレッシブな精神を受け継ぎます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます！

コルネット・サクバットセミナー in 東京のご案内

今年のテーマ “♪ダンス♪”

日時：2015年10月10日（土）14時～12日（月）16時

会場：BumB 東京スポーツ文化館

（JR京葉線新木場駅より徒歩10分）

<http://www.ys-tokyobay.co.jp/>

講師：コルネット 濱田芳通

サクバット 宮下宣子

内容：(1) 個人レッスン

(2) アンサンブルレッスン

(3) 古楽理論 基礎 応用

(4) 演奏に生かせるルネサンス ダンス レッスン

（特別講師）小澤 高志

(5) 発表会

★楽器をお持ちでない方はご相談下さい。初心者大歓迎！

★聴講のみのコースもあります。

★受講料・聴講料は未定です。下記までご連絡ください。

相談先：宮下 sackbutnm@gmail.com

細川 hiyakko_dai@yahoo.co.jp



日本ホーリネス教団東京中央教会

（JR総武線大久保駅より徒歩10分）

電話 03-3371-3674

この地域は教会がたくさんあります。くれぐれもお間違えないよう、地図をお確かめの上ご来場ください。